

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

October
ISSUE



October, 2023
Volume 138

充実した秋学期に

早いもので、新しい学年になってから半分が経ちました。探究の学習(UOI)もUnit4が始まろうとしています。9月は例年よりも増して厳しい暑さが続いていましたが、ようやくそれもおさまり、秋を感じさせてくれるようになりました。

秋と言えば、昔から「食欲の秋」「スポーツの秋」「学問の秋」などと言われてきております。DIAでは多くの楽しい行事が秋学期にあります。今年度で言えば10月21日(土)にスポーツデイ(運動会)、27日(金)にハロウィン、11月3日(金)にきずな祭、24日(金)にクリスマス点灯式、12月8日(金)にクリスマスページェント(3年生児童によるイエス＝キリストの降誕劇)が予定されています。

コロナ対策のため、昨年度までは実施できなかったり、制限のある中で実施したりでしたが、スポーツデイは全学年での開催、ハロウィンはお化け屋敷などきずなホールを使った催しの復活など、4年ぶりに通常の状態に戻していく方向で準備が進められています。

また、探究の学習(UOI)に関連した校外学習も、児童の探究がより広く、深くなるよう、各学年の先生方が創意工夫を凝らしながら再開されるようになりました。コロナ前は全学年で行ってきた宿泊学習についても、昨年度は4学年での実施、今年度は晴れて全学年での実施に戻っています。

私も先日、3年生の宿泊学習(奈良県川上村)に付き添わせていただきました。「匠の聚(たくみのむら)」では、木彫家や日本画家の方々のアトリエを訪ねて、それぞれご自身から説明を受けたり、実際にお面づくりや墨絵体験、一眼レフカメラを使った写真撮影などの体験をさせていただいたり、子どもたちが「本物」に触れる場が数多く設定されたプログラムとなっていました。また最終日には、「森と水の源流館」にて吉野川の上流・中流・下流(紀の川)に住む魚の違いやその理由、吉野川源流と森、太古の森の暮らしなど、水を取り巻く環境について深く学びました。どのプログラムでも、子どもたちは熱心に話を聞いたりメモを取ったりと、真剣に取り組む姿が見られ、充実した3日間を過ごしていました。

さて、話を元に戻すことにしましょう。秋学期には様々な学校行事が用意されています。子どもたちには、一つ一つの行事を大切に、精一杯取り組んでほしいと思います。そしてこれらの行事は、保護者の皆様、とりわけきずな会のボード、SGの皆様方、クラスマザー・ファザーの皆様のご尽力があってこそ成り立っていると言えるでしょう。こういった支えてくださる方々に感謝しつつ、コロナ前よりも増して充実した秋学期となることを祈っています。

教頭 風間 寛



キリスト教教育

10月：誠実 October: Honesty/Integrity

聖書：「ところが、彼らがそこにいるうちに、マリアは月が満ちて、初子の男子を産み、産着にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる所がなかったからである。」

ルカによる福音書 2 章 6,7 節（聖書協会共同訳）

秋学期に入り、3年生のクリスマス・ページェントに向けた練習が始まりました。10月からはいよいよチャペルでの舞台練習が本格化します。

劇中に、住民登録のため身重のマリアを連れて生まれ故郷のベツレヘムへ旅してきたヨセフが、行く先々で宿泊を断られる場面があります。これまでにもう何百回と見てきた場面ですが、今年度は身につまされる思いで練習を見守っています。

前回のこの欄では筆者が実母と共にホテルでもてなして頂いた感動を記しました。今回はいささか、その逆のお話になります。

最近介護認定を受けたばかりの母が二度目の熱中症にかかり、退院後しばらくリハビリ期間が必要でしたが、この施設も満床で、身を寄せることができませんでした。もちろん、ページェントの物語のように意地悪く断られたわけではありません。ただ、本当に「泊まる所がなかった」のです。そんな折、地域の包括支援センターの方から突如連絡が入り、思いがけなく一つ空きが出た施設があるので行ってみてはどうか、とのお話をいただきました。目の前に横たわる仕事の山を前に途方に暮れていた私は、これぞ神の導きと感謝し、母は急遽こちらの施設にお世話になることが決まりました。

しかしながらここは自宅からバスで片道 25 分もかかる山奥であり、面会時間も週日限定で 10 分程度という厳しい所です。「もしかすると我々は、今から姥捨て山に赴こうとしているのかもしれない。」入所の日、母と二人で乗り込んだ自動車の窓から外の景色を眺めつつ、私は激しい罪悪感に苛まれました。

けれども施設に到着し、建物の中に入るとそこは広々とした別世界で、若い澁漣とした介護士さんたちが大勢働き、医師や看護師も常駐しておられるので、お年寄りたちは皆安心してリハビリに励んでおられる様子でした。

正直、家族としては不安が完全に払拭されたわけではありません。でも、旅先で宿屋にさえ泊まれず家畜小屋に身を寄せたマリアとヨセフ、そこで生まれた御子イエス様。その後もヘロデ王の追っ手を逃れて異国エジプトで仮住まいをし、ようやく帰郷して住み始めた場所がガリラヤ地方の中でも辺境のナザレ村でした（今は賑やかな場所のようですが）。この聖家族が受けた苦しみや困難を思う時、神が老母に与えてくださった大きな恵みに感謝せずにはおれません。近い将来、体調がすっかり回復して元気にすたすた歩けるようになったら、その時はまた一緒に神を讃美し礼拝するため、母を迎えに行こうと考えています。

Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓



<お知らせ>

・10月10日（火）おにぎり献金

岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり、福島県の若松聖愛幼稚園、熊本県の慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、日本ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」・「トルコ・シリア大地震」を覚えて、献金を捧げます。賛同していただける方は、お子様に献金をお持たせください。

3年生 宿泊学習 ～川上村～

コロナの影響で2年間中止になっていた宿泊学習でしたが、今年はようやくDIAで初めての宿泊学習に行くことができました。

1日目は匠の聚で3カ所のアトリエを回りながら、日本画、木彫り、油絵を鑑賞し、午後には墨絵の体験や林業の土倉庄三郎さんについてのお話を聞きました。2日目は、オリジナルのお面を作ったり、カメラマンになりきって匠の聚の自然の豊かさを写真に映したりしました。自然に親しみ、普段の生活ではなかなかできない体験を通して、たくさんの学びを得た様子でした。お面づくりや写真撮影では、一人ひとり個性を発揮し、よりよいものを生み出そうとする姿に心を打たれました。



Unit 3では「人は個性を様々な方法で表現する。」をセントラルアイディアにして探究を進めています。いろいろなアーティストの作品を見ながら、また、自分のお面や撮った写真から色々な特徴や個性を表現する面白さを実感できたのではないのでしょうか。



夜には丹生川上神社で夜空を観察しました。あいにくの曇りだったので天の川は見えませんでした。が、神社の灯りを全て消してもらい、みんなで仰向けになって真っ暗な夜の景色や虫や動物の鳴き声を楽しむことができました。最終日には、森と水の源流館を訪問し、古くから川上村が守り大切にしてきたことや、人間の生活と自然との切り離せない関係について学びました。普段から何気なく使っている水ですが、水を使えることは当たり前なことではないということ、そして多くの人たちの犠牲や支えがあって自分達のもとに届いているということに気がきました。

子ども達には、2泊3日の間、一人ひとりに役割を担ってもらいました。誰かに頼るのではなく、一人ひとり責任をもって役割を果たすことの大切さを身をもって学びました。最後に杉の湯を出る子ども達の表情は、学校を出発したときよりもたくましく、頼りがいがあるものになっていました。

今回の宿泊学習を通して、学んだことや得たことは人それぞれ違うと思いますが、今後、学校で過ごす上で必要なことばかりだと思います。貴重な体験を生かして、より成長する3年生のみんなになってほしいと思います。





「環境問題・自然保護を考える」

まだまだ暑い日々が続いていますが着実に季節は秋に移っています。探究の時間、SDGsに関連して調べることが多くあるテーマですが、ゆっくり物語で読んだことはありますか？
よかったら読書の秋に読んでみませんか？

『のどか森の動物会議』

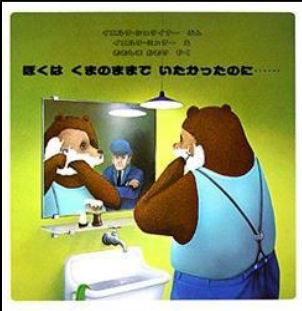
ボイ・ロルンゼン作 童話館出版



かわず村の村長マグヌスは、村の共有ののどか森の木を切りはらい、町へ行って売り、村をお金持ちにしようと提案します。みんな賛成の中で、ひとりの年よりが反対をしますが…。自然破壊の問題をわかりやすく面白く描いた本です。

『ぼくは くまのままで いたかったのに』 イエルク・シュタイナー作

イエルク・ミュラー絵
ほるぷ出版



平和な山奥の森に冬眠しているクマがいました。その冬、その森に人間がきて木を切りたおし工場を作りました。春になって眠りからさめたクマが出ていくと、なんと工場の労働者にされてしま

います。作業服を着て、ヒゲを剃り、タイムカードを入れて……人間社会のなかで過ごしていくうちに何か大事なことを失ってしまうクマの様子からは、環境問題や労働問題、人権問題……様々な深いメッセージが伝わってくるようです。国際アンデルセン賞受賞画家の代表作です。

『じっぼ まいごのかっぱはくいしんぼう』 たつみや章作 あかね書房



台風で洪水になった翌日。学校帰りの太郎は、ごみの山から不思議な「モノ」を見つけます。最初はぬいぐるみかと思ったのですが、よく見るとそれは子どものかっぱでした。そして「じっぼ」と名付け、こっそり飼うことにしましたが、家や学校で飼っているグッピーや金魚を食べまくるほど食欲旺盛。やんちゃで手におえません。そしてとうとう、じっぼが見つかってしまい…

☆生き物を飼うには、責任や覚悟が必要で、命あるものを安易に飼ってはいけないという、大切なメッセージが伝わる物語です。じっぼと過ごすことで成長した太郎の姿が、切なくも心に響く素敵なお話です。小学校中学年におすすめです。

10月の主な行事・予定

1	日	
2	月	Buffer week 1年参観 / G1 Open classes
3	火	3年参観 / G3 Open classes
4	水	委員会活動 Students Committee 5年参観 / G5 Open classes
5	木	6年参観 / G6 Open classes 5年稲刈り / G5 Rice harvesting
6	金	2年参観 / G2 Open classes
7	土	G1 宿泊学習 Over night Trip
8	日	
9	月	スポーツの日 / Sports Day as a national holiday
10	火	Unit4(week1) 4年参観 / G4 Open classes
11	水	G5 宿泊学習 Over night Trip
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	Unit4(week2)
17	火	
18	水	クラブ活動 / Club Activity
19	木	
20	金	
21	土	スポーツデイ Sports Day
22	日	
23	月	代休 Substitute holiday designated by DIA
24	火	Unit4(week3)
25	水	スポーツデイ予備日 Sports Day Reserve Day クラブ活動 club activity
26	木	G3 校外学習 / G3 field trip
27	金	ハロウィン / Halloween
28	土	
29	日	
30	月	Unit4(week4)
31	火	避難訓練 / Evacuation drill

11月の主な行事・予定

2日	収穫感謝礼拝
3日	きずな祭
24日	点灯式
29日	創立記念日